

コース	2021年度四日市市民大学Dコース 四日市大学企画	
講座名	秋の夜長に本を読む	
講座の主旨	<p>本講座は、四日市大学に設置する2つの学部(「総合政策学部」と「環境情報学部」)の専門性の紹介も兼ね、各学部のカリキュラムの専門知識と関連する本の中から、一般の方が読みやすい本を課題本として講義を行います。</p> <p>総合政策学部の3分野、環境情報学部の2分野について、講座ごとに1冊ずつ紹介し、その本を通じて専門分野の入口に受講者の皆様をご案内します。</p> <p>講座は、課題本を読んでいない方も理解できるように進めますが、事前にお読みいただくとさらに理解が深まります。また、受講者用の本は準備しませんので、必要な方はご自身で会場にお持ちください。課題本はすべて、四日市大学情報センター(図書館)で所蔵しています。</p>	
曜日等	<p>金曜日 18:30~20:00 (全5回・託児なし・定員40人) /会場 じばさん三重4階 視聴覚室</p> <p>受講料 2,500円(学生料金1,250円) / 講座の形態:講義形式</p>	
プログラム	①	<p>総合政策学部「国際・経営分野」</p> <p>10/1 『人間の経済』 宇沢弘文(著) 新潮新書(2017)</p> <p>(金) 「社会的共通資本」という言葉をキーワードにして、経済と人間のあるべき関係を経済思想の歴史・医療・教育・環境といった幅広い分野から考えていきます。</p> <p>【講師:四日市大学総合政策学部長・教授 鶴田利恵】</p>
	②	<p>総合政策学部「スポーツ・人間分野」</p> <p>10/15 『樋口一葉小説集』 樋口一葉(著)、菅聡子(編集) ちくま文庫(2005年)</p> <p>(金) 五千円札の肖像、樋口一葉の作品(「わかれ道」等)を取り上げ、〈女が物を書くこと〉とはどういうものであったのか、現代にも通ずる女性が物申すことへの煩悶に迫ります。</p> <p>【講師:四日市大学総合政策学部准教授 高田晴美】</p>
	③	<p>総合政策学部「地域・まちづくり分野」</p> <p>10/22 『日本の地方政府 1700自治体の実態と課題』 曾我謙悟(著) 中公新書(2019年)</p> <p>(金) 当たり前のように存在している四日市市や三重県という地方自治体。人口減少社会のなかで変わりつつある、その仕組みや課題を学びます。</p> <p>【講師:四日市大学学長・総合政策学部教授 岩崎恭典】</p>
	④	<p>環境情報学部「自然環境分野」</p> <p>10/29 『里海資本論 日本社会は「共生の原理」で動く』 井上恭介(著) 角川新書(2015年)</p> <p>(金) 環境行政の方向性は綺麗な海から豊かな海へと変わろうとしています。本著は持続可能な人々の暮らしや経済と豊かな海との関係を具体的な事例に基づき紹介しており面白い。</p> <p>【講師:四日市大学環境情報学部長・教授 千葉賢】</p>
	⑤	<p>環境情報学部「メディア情報分野」</p> <p>11/12 ①『100分で名著 「幸せ」について考えてみよう』</p> <p>(金) 島田雅彦、浜矩子、西研、鈴木晶(著) NHK出版(2014年)</p> <p>②『信長はなぜ葬られたのか 世界史の中の本能寺の変』</p> <p>安部 龍太郎(著) 幻冬舎新書(2018年)</p> <p>失われた日常、普通の日々。今、「幸せ」について「好色一代男(井原西鶴)・国富論(アダム・スミス)・精神現象学(ヘーゲル)・精神分析入門(フロイト)・織田信長」から考えてみ</p> <p>【講師:四日市大学環境情報学部特任教授 武藤和成】</p>